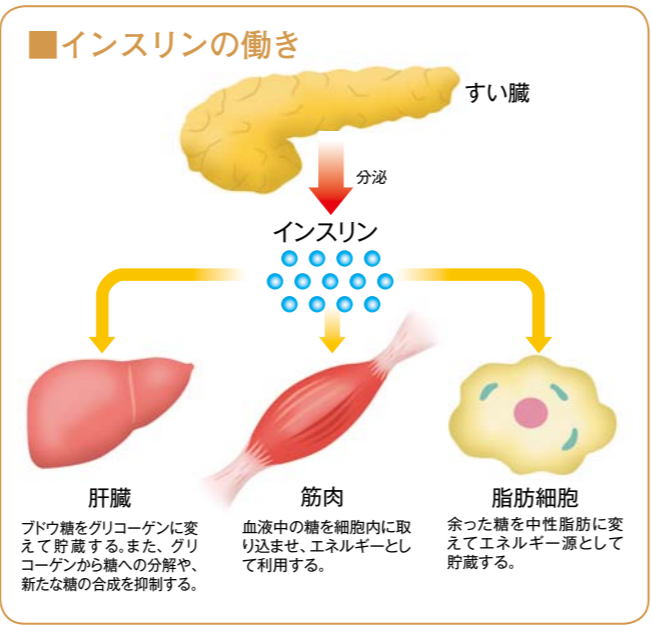


肝臓・すい臓・胆嚢の病気

# 糖尿病

日本人は、分泌障害型が多い

糖尿病には、大きく4つのタイプがある。「1型糖尿病」「2型糖尿病」「その他要因による糖尿病」「妊娠糖尿病」だ(右下参照)。このうち、圧倒的に多いのは「2型糖尿病」。肥満や運動不足、ストレスが引き金となって発症するタイプで、糖尿病患者の9割以上を占めている。生活習慣病といわれる糖尿病は、このタイプだ。



## ■糖尿病の種類

- 1型糖尿病  
インスリンを作るすい臓のβ細胞が破壊されることで起こる。子どものうちに発症することが多い。
- 2型糖尿病  
インスリンの分泌量の減少により起こる型と、インスリンの働きが悪くなり、ブドウ糖が肝臓や筋肉などにうまく取り入れられなくなることで起こる型とがある。両方の型を併せ持つものも多い。
- その他要因による糖尿病  
遺伝子の異常によって発症するものと、肝臓・すい臓の病気、感染症、内分泌疾患などが原因で二次的に引き起こされるものがある。
- 妊娠糖尿病  
妊娠中に初めて発見または発症した糖代謝異常。新生児に合併症が出る場合もある。

糖の血中濃度)をコントロールし、合併症の発症を防ぐことを目的に行われるが、血糖の正常化という点では、これまでの治療法では十分といわざるを得なかった。しかし、糖尿病・内分泌・代謝内科の宮川潤一郎教授は「新しい治療薬である『インクレチン関連薬』の登場によって、日本の糖尿病治療はガラリと変わりました」と話す。

2型糖尿病は、すい臓のβ細胞で作られるインスリンの分泌が減少する「インスリン分泌障害型」や、インスリンの働きが悪くなる「インスリン抵抗性型」により、血糖値を

## インクレチン関連薬の特徴

インクレチン関連薬には、飲み薬である「DPP-4阻害薬」と、注射で投与する「GLP-1受容体作動薬」がある。人の体内には、栄養素を経口摂取するとインスリンを分泌するよう促すホルモンがある。このホルモンがインクレチンだ。DPP-4という酵素によって分解されてしまうため、DPP-4の働きを抑えるこ

下げられなくなっている。欧米人の場合、インスリン抵抗性型が大半だが、日本人の場合は、インスリン分泌障害型によって高血糖になるケースが多い。宮川教授は「日本人に多いインスリン分泌障害型の糖尿病には、インスリンの分泌を無理やり刺激したり、効き方を改善したりするだけのこれまでの薬より、インスリンを分泌するβ細胞を元気にしながら分泌も促進するインクレチン関連薬の方が合っています」と話す。



糖尿病・内分泌・代謝内科 宮川潤一郎教授

ることに変わりはない。糖尿病が悪化すると、三大合併症と呼ばれる「糖尿病網膜症」「糖尿病腎症」「糖尿病神経障害」が生じる恐れがある。このうち「糖尿病腎症」は人工透析が必要となる理由の第1位になっていることから、兵庫医科大学病院では医師の診察に加えて、管理栄養士による食事指導、糖尿病療養指導士や専門看護師による療養・生活指導を、1人の患者さんに1回の受診で行う「糖尿病透析予防指導」を行っている。これにより、血圧管理やタンパク制限などへの理解も進み、生活改善がより実践しやすくなるという。

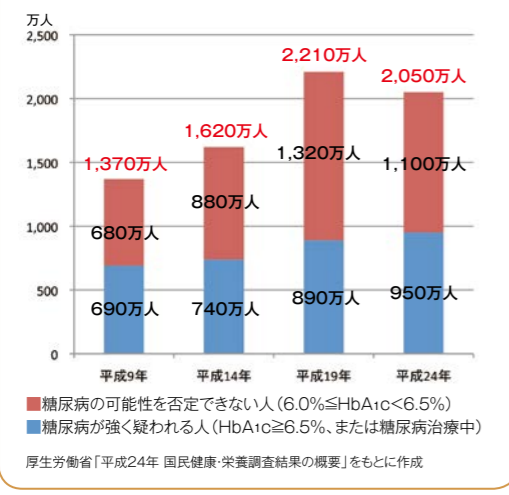
また、宮川教授は、低カロリー食を手がける企業や管理栄養士らと協力し、糖尿病の患者さんの自宅での食事療法を産学一体となってサポートする取り組みも始めている。

## 不安があれば まずは受診を

日本では、40歳以上の

4人に1人が糖尿病の可能性があるとされている。にもかかわらず、その半数近くが治療を受けていない。治療が大変だという先入観が、受診を阻む理由の一つと考えられる。「薬の選択肢が増えたり、さまざまなサポートが得られたりするようになったこともあり、以前と比べて、糖尿病治療は患者さんにとつてずいぶん楽なものになりました。重症化すると合併症を起こし、失明や透析導入、足の切断といった取り返しのつかない事態に陥ることもあります。そうならないためにも、不安があれば、まずは受診してください」(宮川)

## ■日本における糖尿病患者数(推計)



もう一つの大きな特徴が、血糖値が高い時にだけ作用する点だ。「これまでの薬は、血糖値の高い低いに関係なく効いていたので、食事の前に服薬、インスリン注射するなど、患者さんは薬による低血糖をいつも気にする必要がありました。しかし、低血糖時に作用しない薬なら、そんな心配はいりません。単独の治療なら食事との関係を気にせず、注射や服用ができるようになったのです」(宮川)

日常生活の改善が基本  
薬の進化によって糖尿病の治療は大きく前進したが、治療の基本はあくまで食事療法と運動療法。日常生活をいかに改善するかが、病気の悪化を食い止めるカギであ

最近では1週間に1度の注射で済

- がん
- 目・耳・鼻・口の病気
- 胃・腸・食道の病気
- 呼吸器の病気
- 骨・関節の病気
- 脳・神経の病気
- 皮膚の病気
- 肝臓・すい臓・胆嚢の病気
- 腎臓・泌尿器の病気
- 循環器と血液の病気
- 全身の病気
- こころの病気
- 女性の病気
- 子どもの病気